

各位

2026年度 新入社員入社式 社長挨拶（要約）

株式会社 ツムラ

株式会社ツムラ（本社：東京都港区、代表取締役社長CEO：加藤照和）では、2026年度新入社員入社식을4月1日（水）に天成園小田原駅別館（神奈川県小田原市）にて開催しました。入社式での社長挨拶の要約を配付します。

コーポレート・コミュニケーション部

広報課 担当：林

TEL 03-6361-7100

107-8521 東京都港区赤坂2-17-11

shuzai@mail.tsumura.co.jp

2026年度 新入社員入社式 社長挨拶（要約）

～薬価収載から50年 創業の原点を胸に刻み、未来へ向けて成長を～

本日、ツムラグループの将来を担う96名の皆さんを迎えられたことは大変な喜びであり心から歓迎します。

当社は今から133年前に「中将湯本舗 津村順天堂」として創業しました。創業者である初代・津村重舎は、女性の医療アクセスが今ほど容易ではない明治時代において、和漢婦人薬「中将湯」で女性に寄り添うことで、家庭の中心にいる女性が健康で元気になれば、家族も元気になり、やがて日本全体が活力ある心豊かな社会となると信じていました。重舎は「社会公益の一端ともなり、意義ある事業」を目指していたのです。その後、明治維新を機に西洋医学一辺倒へと医療制度改革が行われ、漢方が事実上排斥された世の中においても、重舎は社会や人々のお役に立つ「良薬は必ず売れる」という信念を貫き、漢方の復興を目指して事業を継続しました。事業を引き継いだ二代・津村重舎も、戦火など度重なる苦難を乗り越え、1976年には医療用漢方製剤の薬価基準収載が実現し、81年余りの歳月をかけ漢方の復権を成し遂げました。初めての薬価基準収載から今年でちょうど50年を迎えます。

私たちはこの創業の原点と100年先の未来を結ぶ、究極的に成し遂げる事業の志として、パーパス「一人ひとりの、生きるに、活きる。」を掲げています。そして当社の経営理念は「自然と健康を科学する」です。これは「漢方製剤の作用機序を解明し、科学的根拠、すなわちエビデンスに基づいた漢方治療で患者さまの病気を治したい」という、社員全員で共有すべき不変の価値観です。さらに企業使命「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献します」には「病気の治療に西も東もない。日本でしかなしえない、漢方医学と西洋医学の両方の医学で患者さまの病気を治せる医療にしたい」という、患者様第一、お客様第一の想いが込められています。私たちは創業の原点・想いを胸に刻み、当社グループの基本理念である経営理念と企業使命を道しるべに、患者様が日常診療で一人ひとりに合った漢方治療を受けられる医療現場が実現できるよう貢献していきます。

私たちは目指すべき人財像を「志・情熱」「使命感」「プロフェッショナル」「自立」「利他」の5つとし、「誰からも信頼される人格の形成」を目指しています。当社グループは総勢5,000名を超える大きな組織から成る企業ですが、企業経営の原点は「企業は人なり」であり、個々の能力である「人的資本」とチーム力である「組織資本」こそが企業経営の基盤です。世界に手本のない「漢方・中薬」ビジネスに挑むからこそ、自ら新しい道を切り拓き、誰からも信頼される「人」の集団、「漢方薬的組織」を目指しています。未来のツムラグループを担う皆さんには、先達への感謝を胸に一人ひとりが新たな歴史を刻む「人」として一歩ずつ前進し、これまでの伝統を受け継ぐと同時に社会の動きや新しい技術の進展などに敏感になり、革新によって新たな伝統を築き上げる覚悟を持って仕事に取り組んでもらいたいと思います。

当社は4月より医療用医薬品事業、ヘルスケア事業、中国事業をそれぞれ独立採算制とするカンパニー制を導入しました。経営の大幅な権限委譲と責任の明確化を図ることにより、長期経営ビジョン「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」の実現に向けて、スピードを上げて取り組んでいきます。今年度は長期経営ビジョンの折り返し地点にさしかかっています。新しく仲間になった皆さんにも、自らを革新する覚悟で、自主自立・スピード感を持って仕事に取り組むことを期待しています。

以上